

## タブレットを使って

## &lt;1学期&gt;

総合的な学習の時間で、「ヤゴ救出大作戦」の学習をしました。クロームブックを使って、コミュニケーションを高めていくことを目的として単元を進めていきました。

単元の導入では、課題との出会いを大切にしました。3クラスをzoomで繋ぎ、スライドを投影しながら行い、その後、ヤゴがいるプールから中継をしました。それを見た子供たちは緑に濁ったプールを見て驚き、そしてその中にどんな生き物がいるのか興味津々で「見に行きたい!」となっていて、良い出会いを作れました。

その後、実際にプールに入り、採集して自分のヤゴを育て始めました。そのヤゴを飼育しながら、クロームブックで調べたり、写真や動画を撮ったりして観察をしました。

学習のまとめとして、それまで学習してきたことを、オクリンクでまとめました。イラストや写真、動画や調べてわかったことを、スライドに上手にまとめていました。それを学年の友達や、保護者の方々に聞いてもらいました。保護者の方からは「こんなに使いこなせていることに驚きました」という声を多くいただきました。



## &lt;2・3学期&gt;

1学期からタブレットを継続的に使ってきました。タイピング入力、毎日のclassroomの連絡、オクリンクやムーブノート、ドリルパークなどのアプリ、Googleのドキュメント、スライド、スプレッドシート、ジャムボード、formなどをあらゆる教科・場面で使ってきました。「タブレットは文房具」という考えの元、ノートのように、鉛筆のように扱ってきました。その効果もあり、子供たちも自分たちで使いこなす場面が見られるようになりました。特筆すべきは、学級活動と総合的な学習の時間、オンライン学習でした。

学級活動では、係活動でドキュメントを使って新聞を書いたり、formでアンケートをとったり、スライドで遊びのルール説明をしたりしていました。気付けばタブレットを使って企画・計画している姿がありました。

総合的な学習の時間では、2・3学期もアウトプットを、クロームブックを使って行っていました。2・3学期は自分で使うアプリや方法を選んでいました。

オンライン学習ではコロナウィルスの流行に伴って学級閉鎖などがあってもすぐに対応できる力が付いていました。

この1年間で多くのものを身に付けました。